



日本共産党 市川市議会議員

谷藤利子の市政報告

ブログ:<http://jcp-tanifuji.sblo.jp/> メール:tanifuji@jcp-ichikawa.com

日本共産党市川市議団

谷藤利子個人版

2014年4月04日 N068

連絡先:福栄2-1-1-713

電話:398-5948

皆さんの声を取り上げて、これからも頑張ります。

3月市議会一般質問

3月議会では行徳の道路交通(1面)と障害者福祉の充実(裏面)で一般質問しました。

ふたかけ歩道の段差解消を

党市議団の市政アンケートへの要望に基づき、現地調査や申し入れを行いました。さらに、水路にふたかけをした歩道の段差解消とコミュニティバス問題で一般質問しました。

25年度末整備率36%もっと早めるべき

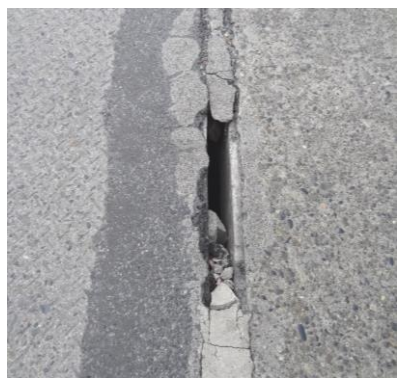
ふたかけ歩道の段差解消整備率は平成25年度末で36%、26年度末で40%、かねて要望していた香取通りは27年度末完了予定とのことでした。毎年少しずつ進んでは

いますが、整備計画を早めるようにまず要望しました。

南行徳4丁目1番地は当面応急的に補修する

市政アンケートに毎年要望が寄せられている南行徳4丁目1番地の歩道の段差解消について、質問しました。

これに対して市は、「整備をするには、民有地の敷地高さの調整や水路内の構造変更等、大規模な改修工事が必要になる。当面、応急的に、舗装範囲を広げたり、コンクリート補強で対応したい」と答弁しました。



アンケートに寄せられた危険箇所を党支部のみなさんと現地調査

コミュニティバスの延伸と便数増を

浦安駅までの延伸とメディアパークまでの便数増

島尻住民の方から『東京ベイ医療センター終

ルートの延伸では、市内中心部と遠隔地のサービスの公平性から検討できない

点ではなく、浦安駅まで行けないものか』等。便数の問題では『市内中心部のメディアパーク行きが1時間半から2時間に1本しかないため、増やせないだろうか、また市役所まで延伸できないか』というものです。

実行委員会に報告すると答弁

か質問しました。

コミュニティバス(わくわくバス)はワシントンで駅や市内中心部に行けるため、大変喜ばれています。が、利便性としてさらに改善して欲しいという要望が寄せられました。

「浦安駅までの延伸は路線バスとルートが一部重複する。便数を増やすにはバスの台数を増やして利用者の負担増が予想される。いずれにしても運行主体である実行委員会に報告する」と答弁しました。



2月17日、市政アンケートに基づき、日本共産党南行徳・塩浜支部と谷藤市議で市川市に道路交通問題で改善の申し入れ

道路について

- ・南行徳駅から今井橋通りに向かう歩道の段差、至急直してください。
- ・南行徳3丁目、抜け道として使われている道を一方通行にしてください。
- ・旧江戸川沿いの広尾防災公園横の道路、スピード制限をしてください。
- ・南行徳2丁目周辺、家が新しく建ち、車の抜け道になって危険です。ミラーや電柱への張り紙などお願いします。
- ・妙典→浦安のバイパス交差点信号に、右折用矢印をつけてください。
- ・広尾防災公園→島尻エコスあたりまで歩道を整備してください。
- ・相之川歩道橋の交差点に横断歩道をつけてください。

バスについて

- ・65才以上を対象に、バスの回数券又はパスポートを発行してください。
- ・島尻から浦安駅までのバスルートを作ってください。

防災治水対策について

- ・最寄りのマンションなど高いところの避難場所を住民に周知してください。
- ・大雨が降ったとき、水があふれて不安でした。南行徳公園周辺の道路・新井3丁目・福栄と南行徳1丁目の間の赤い道周辺の改善をお願いします。

公園について

- ・緑道や小さな公園は雑草だらけなのでために管理してください。
- ・公園のベンチ・遊具の点検・補修を早急にしてください。
- ・公園に有酸素運動の機械やぶら下がり器、背筋を鍛える器具などを設置してください。(主なものを抜粋しました)

障害者の地域生活支援の充実を

障害児・者が給付サービスを受けるためには、「サービス等利用計画」の作成が必要になりました。しかし、計画作成は大変遅れています。

サービス利用計画作成はすすんでいるのか

《谷藤質問主旨》

昨年9月議会では、「相談支援事業所が足りない」「相談支援のノウハウが乏しい」「相談支援専門員の拡充と質の確保が必要」「相談支援ガイドライン」で研修を行う」等の答弁があったが、その後計画作成はすすんだのか。

《市の答弁主旨》

市川市でサービス利用計画の作成が必要な方2167名の31%は計画作成済み。期限の26年度末までに、相談支援専門員による作成が1102名、セルフプランが1065名になる見通しである。

セルフ依存ではなく、相談支援専門員による計画づくりを

《谷藤質問主旨》

相談支援専門員による計画とセルフプランはほぼ半々になるとのこと、セルフプランが拡大すれば、障害者の地域生活を総合的に支援する計画は難しくなるのではないのか。

また、計画作成をやっていない相談支援事業所が質の高い計画相談に取り組めるように、市は事業所に働きかけのべきではないか。

《市の答弁主旨》

セルフプランが十分な計画になっているか、障害者支援課職員が精査して、必要な援助をする。また、相談支援事業所や支援専門員に計画作成業務の立ち上げを働きかけ、必要な援助もする。

地域生活支援の充実を

《谷藤質問主旨》

市川市の『障害者相談支援ガイドライン』には、「障害者が地域で安定して暮らし続けられるように、常時の連絡体制をとり、24時間365日緊急事態に対応する。不安や相談を聞いて解決の糸口を一

緒に探す」等とある。

しかし、現状にあった支援ができていない、と現場関係者から聞いている。地域生活・定着支援の充実についてどう考えているのか。

《市の答弁主旨》

障害者の住居を確保する『居住サポート事業』、障害者就労支援センター『アクセス』での就労定着支援。障害者の日中活動の場を確保する地域活動支援センターや日中一時支援活動を行っている。今後も地域生活の充実に向けた支援を充実させる。

自立支援協議会相談支援部会の意見を前向きに受け止めよ

《谷藤質問主旨》

『サービス利用計画』作成や地域生活支援の充実のために、障害者自立支援協議会相談支援部会から積極的な意見が提案されている。この声に前向きに答えていくべきではないか。

《市の答弁主旨》

頂いているご意見のうち、24時間体制で困難事例に対応している『基幹型支援センター』『えくる』の事業拡充については検討していく。さらに相談支援事業所の連携を強化していく。



障害者の就労支援事業所

2014年1～3月・利子の主な活動報告

1月12日：新成人のつどい

集い前の1時間、外でお祝いの宣伝をした後入場しました。

1月15日：「むかしMattoの町があった」上映会

精神障害者が長期入院から地域生活に移行していく映画でした。

1月24日：秘密保護法廃止国会大包围に参加

行徳臨海部特別委員会終了後に駆けつけました。

1月27・28日：相馬市の障害者支援事業所『ひまわりの家』視察。グループホームや生活訓練施設、就労支援事業等、活発な支援活動に感動しました。



2月2日：日本共産党行徳後援会の新春のつどい。40数人の方が参加しました。

2月4日：市政アンケートへの要望に基づき現地調査しました。これをもとに、2月17日、市川市に改善の申し入れをしました。

3月5日：市議会健康福祉委員会で新年度予算の審議、反対討論。

3月8日：第3回さよなら原発市川パレードに参加しました。

3月20日：本会議で、一般質問を行いました。

3月30日：市川三番瀬を守る会総会で意見交換をしました。

